経済史概論Ⅳ　(Modern Economic HistoryⅣ)

科目ナンバリング　ECH-104
選択必修　　2単位

野澤　丈二

1. 授業の概要（ねらい）

TAEP(帝京アシ゛ア交流フ゜ロク゛ラム)留学生向けの科目て゛、原則として英語を使用言語とします。
この授業て゛は、主に14世紀から20世紀まて゛を対象として、国と国・地域と地域なと゛の相互の繋か゛りや影響に主眼を置い て、経済史をより国際的な視点から学びます。その際、必ずしも西ヨーロッパを中心とした国民国家体制を前提とはせず、 家族・地域・都市・企業あるいは信仰の異なる集団間での経済活動を視野に入れ、よりグローバルな視点から、ヒト・モノ・　カネ・情報の移動を考えていきます。　経済的に一体化した今日の世界をよりよく理解するうえでも、またこれからの地域社会・国際社会・グローバルな社会を　見通すうえでも、そのための手がかりとなる歴史的な知識を身に付けます。

2. 授業の到達目標

① 経済史とはなにかを説明て゛きる。
② 経済的に不均衡な世界の成り立ちを、その歴史的背景から説明て゛きる。
③ 過去や歴史を知ることて゛、現在生きている状況を相対化し、複眼的な思考を養う。

3. 成績評価の方法および基準

平常点:出席、授業への積極的な参加、授業内課題（30%）; 期末試験（70%）
課題や試験の内容については、授業の様子を見たうえて゛判断します。

4. 教科書・参考文献

参考文献
- Kenneth Pomeranz and Steven Topik, The World That Trade Created : Society, Culture, and the World Economy, 1400 to the Present, Forth Edition, (Routledge, 2018)
- Frank Trentmann, Empire of Things : How We Became a World of Consumers, from the 15th century to the 21st, (Penguin, 2016)
- Immanuel Wallerstein, The Modern World-System. With a new prologue, (University of California Press, 2011), 3 vols. Originally published between 1974-1989.

5. 準備学修の内容

授業で指定する予習資料を事前に必ず読んでくること。
現在、「ク゛ローハ゛ル」な視点から書かれた歴史書か゛、一般向けにも多く刊行されています。書店に立ち寄る機会があれ ば、ぜひ関連書棚を眺めてみてください。もちろんネット上で閲覧できる書評なども活用してください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　歴史学とはなにか、経済史とはなにか?
【第3回】　授業内課題①
【第4回】　暴力の役割①
【第5回】　暴力の役割②
【第6回】　暴力の役割③
【第7回】　授業内課題②
【第8回】　制度と慣行①
【第9回】　制度と慣行②
【第10回】　制度と慣行③
【第11回】　授業内課題③
【第12回】　工業化のプロセス①
【第13回】　工業化のプロセス②
【第14回】　工業化のプロセス③
【第15回】　まとめ